

LikePot基山 放課後等デイサービス 事業所における自己評価表

※無回答・複数回答あり。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4				
	②	職員の配置数は適切である	3	1			支援量や送迎などに応じて、スタッフ配置の見直しを行う。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		2	2		・事業所前に傾斜が急な階段がある。真ん中に手すりを付けたが階段使用時は注意が必要 ・トイレ前に段差がある。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	1	1	朝礼を実施し、情報共有や広く意見の吸い上げを行っている	朝礼やミーティングで、スタッフ全員から意見を吸い上げる。情報共有を行う。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1			毎年行っている。スタッフ全員に情報共有を行う。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している		2	2		毎年行っている。スタッフ全員に情報共有を行う。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	1		外部評価は行っていない。今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1		毎月内部研修の実施、外部研修のお知らせをしている。	個々に応じた研修計画を見直していく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2			・記録をさかのぼって実施している。 ・アセスメントツール自体は今後より分かりやすいものに整備していきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		3	1		・記録をさかのぼって実施している。 ・アセスメントツール自体は今後より分かりやすいものに整備していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	2		2		特定スタッフの負担が大きい。今後は、分担して行う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1			計画立案時に、広く意見を吸い上げ、活動プログラムの充実を図る。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3			平日・休日・長期休暇で活動内容（イベントなど）を検討し実施している。個別課題についても今後は検討を行っていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	1			きめ細やかに活動計画を策定していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	4				
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	3		当日できなかった場合は、翌日などに行っている。	振り返りを行い記録、情報共有を行っている。当日が難しければ、翌日実施、記録している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	2	1		情報共有はしているが、記録にしっかりと残し、客観的な資料とし支援の検証・改善につなげたい。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	1	2	1		定期的実施している。情報共有ができるよう努める	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	1	2		実施している。わかりやすく個別支援計画にも提示していく。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	1			管理者、児童発達管理責任者が参画している。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	2	2			保護者を通して予定などの連絡事項は確認している。その他の連絡調整については、直接学校とやりとりを行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		1	1		対象児なし。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			4		事業所側から、相談支援専門員にアプローチする。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	1		事業所側から、相談支援専門員にアプローチする。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	2		必要に応じてセンターの見学や情報共有を行っていく。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			4		現状ないため、どのような形で実現するのか模索していく。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	1	2		管理者や一部のスタッフが参加している。情報共有を行う。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1			お迎え時に、ご利用の様子とともに、ご家庭や学校の様子等情報共有を行っている。スタッフへの情報共有も図る。
保護者への説明責任等	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		1	3		ペアレントトレーニングについて、研修を行い実践していく。
	⑳ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	2	1		管理者、児童発達管理責任者が実施している。
	㉑ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1			実施している。
	㉒ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3			年2回程度保護者同士の交流会や研修等設けている
	㉓ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1			小さな要望からやりとりができる保護者との関係作りに努めたい。
	㉔ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4				
	㉕ 個人情報に十分注意している	3	1			適宜見直しを行っていく。
	㉖ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	3			個々の合わせて行っている。情報共有を図っていく。
	㉗ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4		どのような形で実現できるか模索していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2		2		マニュアル策定や研修は実施している。今後、スタッフや保護者への周知を行う。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4				
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1			研修は実施している。情報共有を行う。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			4		支援内容を再度検討し、やむを得ない場合は、書面にて保護者へ説明・承諾を得ていく。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			4		現在、対象児はいないが、利用がある際には医師の指示を受けて対応を行っていく。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有システムで確認。 ・会議での共有。 ・毎日確認。 	記録だけでなく、朝礼やミーティング等でも情報共有を継続して行っていく。